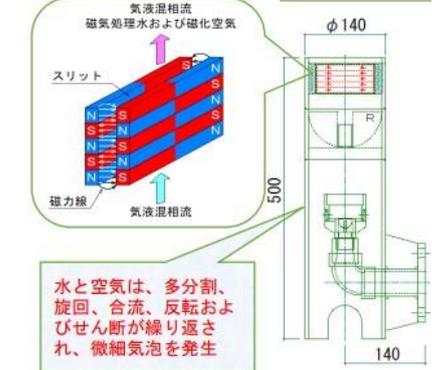


燃焼排ガス中の二酸化炭素を回収する装置「ミューマグレータ」

<p>概要 ・品質 ・性能</p>	<p>CCS (CO<sub>2</sub>の回収・貯留技術) および CCUS (回収したCO<sub>2</sub>の有効利用技術)用のCO<sub>2</sub>回収設備に利用される高性能エレメントと新回収プロセス。</p> <p>ミューマグレータは静止型の流体混合器に永久磁石を組み込んだ散気装置。ミュー静止型螺旋状多孔翼 (MU - S S P W) の羽根体の混合部と永久磁石が配置される磁気処理装置で構成される。空気は噴射ノズルから高速で排出され、通路管内で液体を巻き込みながら気液混相流が螺旋形状の羽根体に移送する。羽根体で空気が通過する際に強力に混合、攪拌、せん断、破碎が生じながら気液混相流は、N極、S極の異なる永久磁石を交互に配置した磁気処理装置に移送し、磁場を発生させた磁気区間を通過する。微細気泡を含んだ気液混相流に磁性を帯びさせ、その後水中へ磁気処理水および磁化空気が気液混相流として放出される構造。</p> <p>CO<sub>2</sub>を回収するにはCO<sub>2</sub>を吸着する性質を持つアミン溶液を使用する化学吸収法が一般的で、アミン溶液を、CO<sub>2</sub>を含む排ガスと接触させ加熱するとCO<sub>2</sub>が分離し、効率よくCO<sub>2</sub>を回収できる。</p> <p>ミューマグレータを装備したCO<sub>2</sub>吸収プロセスはラシヒリングなどの従来の一般的な充填物によるプロセスの欠点を克服してプロセスを一新することができる。しかもすでに、排水処理施設への導入事例でその優秀性を実証している。</p>	 <p>左より①MMA-125-40 P P、②MMA-25-PP、③MMA H-25-PP</p> <p>ミューマグレータの仕組み</p>  <p>水と空気は、多分割、旋回、合流、反転およびせん断が繰り返され、微細気泡を発生</p>  <p>MMA-125-40-PP</p>
<p>用途</p>	<p>① CCS (CO<sub>2</sub>の回収・貯留) およびCCUS (回収したCO<sub>2</sub>の有効利用) 技術用のCO<sub>2</sub>回収設備</p>	<p>技術移転</p> <p>① 形態 特許実施権供与 ② 相手先 問わない ③ 地域 国内・海外いずれでもよい</p>
<p>実用化・情報</p>	<p>[試作・実験] 未了 [製造・販売実績] 有 [技術情報の提供] 技術資料、パンフレット、特許公報等 [情報提供者] (株) ミューカンパニーリミテド 代表取締役社長 小嶋 久夫 [連絡先] (公財) りそな中小企業振興財団 TEL 03-3444-9541 F A X 03-3444-9546</p>	<p>特許等</p> <p>特許番号：特許第7054116号 登録日：令和4年4月5日 特許権者：(株) アネモス/鈴木 照敏 発明者：鈴木 照敏/小嶋 久夫/ 鈴木 照彦/小嶋 真慈 名称：燃焼排ガス中の二酸化炭素を回収するための装置及び方法</p>